



☐	社会人
☐	学生
☐	高専
☐	高体連
☐	中体連
☐	小学生

☐	全国大会
☐	ブロック大会
☐	都道府県大会
☐	地区大会

☐	男子
☐	女子

試合 番号	S1
----------	----

年月日	2026 年 8 月 20 日 (木)
大会名	第55回全国中学校ハンドボール大会

公 式 記 録 用 紙

A		宇土市立鶴城中学校										府中ハンドボールクラブ										B	
都道府県		市町村		会場										回戦									
岡山県		総社市		きびじアリーナ										決勝									
前半		A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m入- コンテスト	A	B								
7m得点/総数		A	チームタイムアウト							チームタイムアウト			B	7m得点/総数									
		1	2	前・後	3					1	2	前・後	3										
		3/4	21'48	19'56	22'00					15'18	16'04		1/1										
No.	鶴城中					G	W	2'	D	DR	No.	府中HC					G	W	2'	D	DR		
1	那須 玲衣										1	加藤 芽依											
2	山本 清華										2	藤本 花夏					9						
3	長谷河 陽咲					2	/				3	山口 ななみ					8						
4	長谷河 萌乃歌					3					4	久津間 結					3	/					
5	緒方 七美										5	諫山 梓					2						
6	岩崎 璃子					1					6	繁田 美咲					3						
7	平江 心美					16					7	小山田 あかね					4	/					
8	野口 まなか					6					8	中村 千桜					2						
9	中村 紀菜里					8					9	太田 初希					1						
10	平崎 友己名										10	樋野 ほの葉											
11	山本 奈央										11	森田 華梨											
12	高田 結生										12	福井 愛菜											
13	前田 陽まり										13	西野 朱里											
14	長谷河 結花										14	伊藤 千和											
16	濱野 聖彩										15	河瀬 桐子											
A B	光永 和之										A	鈴木 司											
	坂本 光世										B	樋野 恵巨											
											C	高司 鮎香											

A	光永 和之	チーム役員A署名	坂本 光世	B
---	-------	----------	-------	---

レフェリー	岡田 雅央	荒木 隆史	岡田 雅央	荒木 隆史
TD	柴田 貴世	岡本 大典	柴田 貴世	岡本 大典
MO	細井 洋孝		細井 洋孝	

令和8年度全国中学校体育大会 第55回全国中学校ハンドボール大会

女子 決勝

令和8年8月20日(木)

於:きびじアリーナ

A

宇土市立鶴城中学校(熊本)

対

B

府中ハンドボールクラブ(東京)

36	17	前半	13	32
	19	後半	19	

昨年度王者の宇土市立鶴城中学校と、悲願の初優勝を狙う府中ハンドボールクラブによる女子決勝。府中のスローオフで幕を開けた一戦は、立ち上がりから決勝戦にふさわしい緊迫した攻防となった。

開始早々、府中は2番藤本の鋭いミドルシュートで先制するも、鶴城中はすかさず7番平江のミドル、8番野口のカットイン、さらにパスカットからの速攻で3連続得点を挙げ、一気に主導権を握る。追いかける府中も2番藤本のポストプレーや7番小山田の突破で食い下がると、前半中盤までは激しい点の取り合いが続いた。前半9分に鶴城中7番平江が7mスローを沈めた後、両チームの集中した守備とGKの好セーブが連発し、試合は一時膠着状態となる。この緊迫を破ったのは鶴城中。パスカットからの素早い速攻や8番野口のシュートで連続得点し、前半15分に11-7とリードを広げた。府中はタイムアウトで立て直しを図り、3番山口のミドルシュートなどで必死に応戦するが、鶴城中もGKのセーブを起点に譲らない。前半終了間際、府中5番諫山の速攻が決まるも、鶴城中9番中村がすかさずサイドシュートを決め返し、17-13と鶴城中リードで前半を折り返した。

後半、府中はディフェンスの強度を一段と上げてプレッシャーを強めるが、鶴城中も3番長谷河のサイドシュートなどで着実に得点する。後半2分、府中に退場者が出ると、鶴城中7番平江が7mスローを決めて20-14とさらに点差を広げた。府中もGKのセーブから速攻へ繋げて一時3点差まで詰め寄るが、要所で鶴城中GKの連続好セーブが飛び出し、流れを渡さない。勢いに乗る鶴城中は3番長谷河、9番中村のサイドシュートや速攻で得点を重ねて再び突き放した。

後半14分、鶴城中4番長谷河の得点時に府中に再び退場者が出ると、鶴城中は数的優位を活かして8番野口のカットインや7番平江のパスカットからの得点で32-25と決定的なリードを奪う。後がない府中は、後半20分に府中2番藤本がシュートを沈めるなど、怒涛の追い上げを見せて一時は4点差まで迫るが、鶴城中は焦らず9番中村の突破や4番長谷河の速攻で応戦。最後まで主導権を渡さず、36-32で逃げ切った鶴城中学校が、2年連続8回目の優勝を果たした。